

一般社団法人 日本合唱指揮者協会創立60周年記念事業

JCDAコーラスアカデミー

第二期 募集要項

未来の合唱文化を担う

合唱指揮者・合唱歌手の育成のために

第一版 (2024.2.15)

一般社団法人 日本合唱指揮者協会

JCDA

JCDAコーラスアカデミーの設立理念と特徴

一般社団法人 日本合唱指揮者協会では、未来の合唱文化を担う合唱指揮者・合唱歌手を育成するため、2023年4月から、(一社)日本合唱指揮者協会創立60周年記念事業として、JCDAコーラスアカデミーを開校しました。

海外では音楽大学に合唱指揮科や合唱科があり、専門的な合唱指揮者や合唱歌手を育成するシステムがありますが、日本の音楽大学には合唱指揮科がない、またはあっても根付きにくい状況が続いています。それは、海外の教会のような合唱指揮者の受け皿が日本にはないという問題や、大学の採算性・収益性の問題など、様々な理由があります。とはいえ、日本のアマチュア合唱は大変盛んでその裾野は大きく広がっていますし、そのレベルの高さ（特に中高生の）は世界的にみても非常に高いものです。その中であって、専門的・体系的に合唱指揮を学べる機関がないというのは、ややアンバランスであり、将来の日本の合唱文化がより豊かに発展していくためにも、合唱指揮者や合唱歌手を育てていく場所があることは重要であると考え、数年間に亘る検討、2020年のプレ開講を経て、2023年4月より本開講しました。

JCDAコーラスアカデミーは、以下の特徴があります。

・将来の合唱文化を担う合唱指揮者、合唱指導者、合唱歌手を育成することを主たる目的とした、「合唱指揮科」と「合唱科」を擁する3年制の研修期間

プロフェッショナルの合唱指揮者になるために必要とされる知識や技術を、3年間に亘って体系的に学ぶ「合唱指揮科」と、プロフェッショナルのアンサンブル歌手になるために必要とされる知識や技術を、同じく3年間で体系的に学ぶ「合唱科」の2つの本科を、コーラスアカデミーの軸としています。

・オンライン講義と対面講義のハイブリッド型によって、時間と場所を選ばずに受講することが可能

科目の性質に応じて、対面講義とオンライン講義を使い分けて開講します。また、対面講義を含めたすべての講義は、オンラインで配信されるため、受講生は時間と場所を選ばず、また何度も繰り返し受講することが可能です。

・ 第一線で活躍する音楽家、研究者、教育者による講義を実現

講師の先生には、第一線で活躍する指揮者、声楽家、作曲家、詩人、音楽教育者、研究者を招聘し、一流の講師陣による一流の講義を実現しています。

・ 部活動指導者、地域指導者、パートリーダー等を育成するための多様なコース制

部活動の地域移行に伴い今後需要の高まる「部活動指導者」や、地域で活躍する合唱指導者、大学の合唱団の学生指揮者や、パートリーダーを育成するための多様なコース制度（選科）を取り入れています。

・ 「育成」と「研鑽」の2つの目的に応じたコース・内容

JCDAコーラスアカデミーは合唱指揮者や合唱歌手を目指す若い人の育成だけではなく、現在活動する合唱指揮者、合唱指導者が、より学びを深めていくための研鑽の場でもあります。

・ 1科目から受講できる単科コース

上記アカデミーの開講科目は、すべて1科目から受講することが可能となっています。

少子化、そして長引くコロナ禍で、合唱人口が急激に減少しており、また部活動の地域移行の問題も重なり、合唱の将来は危機的な状況にあることは論を俟ちません。その中において、合唱文化の灯火を絶やさないために、そして、将来に渡ってこの豊かな文化を引き継ぎ、益々発展させていくために、このJCDAコーラスアカデミーがその一助となることを願っています。

JCDAコーラスアカデミー 開講コース

JCDAコーラスアカデミーでは、3年制からなる本科、1年制の選科、1科目から学べる単科の3つの科を用意しています。

1. [本科]

合唱指揮科

目的：プロフェッショナルの合唱指揮者になるために必要な知識、技術を体系的に学ぶ

対象：プロフェッショナルの合唱指揮者を目指している方

- ・3年制
- ・定員：若干名
- ・書類審査・実技審査あり
- ・開設されるすべての科目を履修できる。実技科目・演習付き講義科目に関して、アクティブ受講生として受講できる（声楽アンサンブル演習Ⅰのアクティブ受講を希望する場合は入学試験の演奏審査で声楽を選択すること）
- ・3年次に修了演奏会があり、修了をもってJCDA会員に推薦される

合唱科

目的：プロフェッショナルの合唱歌手、アンサンブル歌手になるために必要な知識を体系的に学ぶ

対象：プロフェッショナルの合唱歌手、アンサンブル歌手を目指している方

- ・3年制
- ・定員：若干名
- ・書類審査・実技審査あり
- ・開設されるすべての科目を履修できる。実技科目・演習付き講義科目に関して、アクティブ受講生として受講できる（指揮法Ⅰのアクティブ受講を希望する場合は別途動画審査あり）
- ・3年次に修了演奏会がある

2. [選科]

合唱指導者コース

目的：合唱指揮者、指導者がより研鑽を深めるため、自分に必要な知識を学ぶ

対象：現役の合唱指揮者、合唱指導者（プロフェッショナル、セミプロ、アマチュア含む）、またはそれを目指している方

- ・1年制（更新可）
- ・開設科目から**4科目を選び**履修する（組み合わせは自由）
- ・上記4科目に加えて、コース特別科目1科目を受講する（「合唱指導法」）
- ・入学審査なし
- ・実技科目（指揮法Ⅰ・Ⅱ、声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディ）・演習付き講義科目（演奏表現のための理論Ⅰ・Ⅱ、舞台語発音法Ⅰ・Ⅱ）に関しては、定員枠に空きがある場合、アクティブ受講優遇制度あり（試験あり）
- ・所定の科目をすべて履修し単位を修得することによりコース修了認定証を発行する

学校教育者・部活動指導者コース

目的：学校教育者・部活動指導者に求められる知識を総合的に学ぶ

対象：小・中・高等学校の先生、部活動指導にあたられている方、またはそれを目指している方

- ・1年制（更新可）
- ・開設科目から**4科目を選び**履修する（組み合わせは自由）
- ・上記4科目に加えて、コース特別科目1科目を受講する（「部活動指導法」）
- ・入学審査なし
- ・実技科目（指揮法Ⅰ・Ⅱ、声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディ）・演習付き講義科目（演奏表現のための理論Ⅰ・Ⅱ、舞台語発音法Ⅰ・Ⅱ）に関しては、定員枠に空きがある場合、アクティブ受講優遇制度あり（試験あり）
- ・所定の科目をすべて履修し単位を修得することによりコース修了認定証を発行する

技術系・パートリーダーコース

目的：学生指揮者、パートリーダーに求められる知識を学ぶ

対象：パートリーダー、ヴォイストレーナー、学生指揮者など、技術的な立場にある方、またはそれを目指している方

- ・1年制（更新可）
- ・開設科目から**2科目を選び**履修する（組み合わせは自由）
- ・上記2科目に加えて、コース特別科目1科目を受講する（「合唱指導法」）
- ・入学審査なし
- ・実技科目（指揮法Ⅰ・Ⅱ、声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディ）・演習付き講義科目（演奏表現のための理論Ⅰ・Ⅱ、舞台語発音法Ⅰ・Ⅱ）に関しては、定員枠に空きがある場合、アクティブ受講優遇制度あり（試験あり）
- ・所定の科目をすべて履修し単位を修得することによりコース修了認定証を発行する

部活動指導員コース ※短期コース

目的：部活動指導員になるために必要な知識を短期で学ぶ

対象：実務経験3年以上の学校教員または部活動指導者、またはJCDA会員

- ・夏期および冬期集中講座（各2日間）
- ・コース特別科目を2科目履修する（「部活動指導法」および「合唱指導法」）
- ・コース特別科目をすべて履修し単位を修得することによりコース修了認定証を発行する

3. [単科]

- ・1科目から受講可能
- ・実技科目（指揮法Ⅰ・Ⅱ、声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディ）および演習付き講義科目（演奏表現のための理論Ⅰ・Ⅱ、舞台語発音法Ⅰ・Ⅱ）に関しては、定員に空きがある場合に、アクティブ受講を申し込むことができますが、本科生・選科生が優先されます。また、アクティブ受講を希望される場合は、試験があります。（「アクティブ受講について」を参照）

【2024年度開設科目一覧】

指揮法Ⅰ
指揮法Ⅱ
声楽アンサンブル演習Ⅰ
声楽アンサンブル演習Ⅱ
リハーサルスタディ
演奏表現のための理論Ⅰ
演奏表現のための理論Ⅱ
舞台語発音法Ⅰ
舞台語発音法Ⅱ
合唱音楽史Ⅰ（西洋）
合唱音楽史Ⅱ（日本）／キリスト教と合唱
日本語を学ぶ／詩を学ぶ
発声のための音声学概論／発声指導法
作品研究
部活動指導法（夏期集中講座）
合唱指導法（冬期集中講座）

【アクティブ受講について】

実技科目（指揮法Ⅰ・Ⅱ、声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディ）、演習付き講義科目（演奏表現のための理論Ⅰ・Ⅱ、舞台語発音法Ⅰ・Ⅱ）のアクティブ受講には、下記の定員があります。

指揮法Ⅰ・Ⅱ：8名
声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ：8名
リハーサルスタディ：30名
演奏表現のための理論Ⅰ・Ⅱ：10名（最大12名）
舞台語発音法Ⅰ・Ⅱ：10名（最大12名）

本科生は原則としてすべての科目をアクティブ受講することが可能です（専攻外実技科目のアクティブ受講を希望する場合は試験あり）。

その上で定員に空きがある場合、まず選科生のアクティブ受講希望者から、試験によってアクティブ受講生を決定します。

その上で定員に空きがある場合、単科生のアクティブ受講希望者から、試験によってアクティブ受講生を決定します。

アクティブ受講が決定した場合は、聴講料とアクティブ受講料の差額分を追加でお支払いいただきます（指揮法Ⅰ・Ⅱ、声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディは+40,000円、そのほかは+20,000円）。

試験内容につきましては、お申し込み方法のページをご覧ください。

開講予定科目と講師 ※現時点のもので変更の可能性があります。

【専門科目】※合唱指揮科

《指揮法Ⅰ》：通年（2024年度開講） [実技]

講師：古橋富士雄

オーケストラ・合唱とともに共通する指揮法の基礎を、1年間かけてじっくり勉強する講座です。講座はピアノを用いて行われます。

《指揮法Ⅱ》：通年（2024年度開講） [実技]

講師：松村努

主に合唱作品を通じて、合唱の指揮に必要なテクニックを実践的に学びます。受講にあたっては、《指揮法Ⅰ》を履修していること、または同等レベルの実力を有していることが前提となります。講座は受講生同士が歌い手となりアンサンブルを編成し、必要に応じてピアノにより行われます。

《指揮法Ⅲ》：通年（2025年度開講予定） [実技]

講師：相澤直人、大谷研二、花井哲郎、樋本英一、松下耕ほか

複数名の講師により、グレゴリオ聖歌の指揮、ルネサンス・ポリフォニーの指揮、オーケストラの指揮、リハーサルビルディング等、より専門的、実践的な指揮法を学びます。受講にあたっては、《指揮法Ⅰ・Ⅱ》を履修していること、または同等レベルの実力を有していることが前提となります。講座は受講生同士が歌い手となりアンサンブルを編成し、必要に応じてピアノを用いて行われます。

【専門科目】※合唱科

《声楽アンサンブル演習Ⅰ》：通年（2024年度開講） [実技]

講師：望月哲也

アンサンブルのための発声の基礎を1年間かけてじっくり学びます。

《声楽アンサンブル演習Ⅱ》：通年（2024年度開講） [実技]

講師：鈴木美登里、福島康晴

主にルネサンス・バロック時代の作品（マドリガーレなど）を用いて、声楽アンサンブルに必要なことを学びます。受講にあたっては、《声楽アンサンブル演習Ⅰ》を履修していること、または同等レベルの実力を有していることが前提となります。

《声楽アンサンブル演習Ⅲ》：通年（2025年度開講予定） [実技]

講師：清水雅彦、辻秀幸

主に古典派・ロマン派時代の作品（二重唱、重唱曲など）を用いて、声楽アンサンブルの演習を行います。受講にあたっては、《声楽アンサンブル演習Ⅰ、Ⅱ》を履修していること、または同等レベルの実力を有していることが前提となります。

【専門科目】 ※合唱指揮科、合唱科共通 [実技]

《リハーサルスタディ》：通年（2024年度開講）

講師：花井哲郎、大塚直哉、上西一郎、大谷研二、藤井宏樹、雨森文也、松村努、松下耕、三澤洋史、村上寿昭

指揮を学ぶものにとって、理論的な勉強や指揮法の勉強はもちろん大切ですが、第一線で活躍する指揮者が、どのように合唱団と対峙し、演奏を創りあげていくか—そのリハーサルの過程を体験し、指導法を学ぶことも、理論と同じくらい大切です。《リハーサルスタディ》では、第一線で活躍する指揮者と演奏を創りあげる過程（リハーサル）をともにする中で、指揮者が身につけるべき指導法・リハーサルビルディングなどを学び、実践的な指導法を身につけるとともに、合唱歌手として必要とされるアンサンブル、様式感や演奏表現のあり方を学んでいきます。

【共通科目】 ※合唱指揮科、合唱科共通

《合唱音楽史I（西洋）》：通年（2024年度開講） [講義]

講師：宮崎晴代

中世から現代に至るまでの長い合唱の歴史を、俯瞰的に学ぶ講座です。 [アーカイブ利用講座]

《合唱音楽史II（日本）》：半期（2024年度前期開講） [講義]

講師：戸ノ下達也

明治から現代に至るまでの多様な日本の合唱音楽の流れを概観する講座です。

《キリスト教と合唱》：半期（2024年度後期開講） [講義]

講師：金澤正剛

合唱音楽の演奏の上で深い理解が欠かせないキリスト教について、合唱との関わりを中心に学ぶ講座です。

《音楽修辞学》：半期（2025年度開講予定） [講義]

特定のリズムや音型に秘められた意味を読み解くことで、その作曲家が意図した表現を導くことができる、音楽修辞学を学びます。

《エディション研究》：半期（2025年度開講予定） [講義]

楽譜は、同じ作品であっても、版によって様々な内容の違いがあります。それらの違いの由来を探り、演奏者が楽譜に対してとるべき姿勢を学びます。

《演奏表現のための理論I～III》：通年（2024年度開講） [演習付き講義]

講師：上田真樹

ともすると机上のものに終始してしまいがちな音楽理論の学習を、演奏表現にどのように生かすか、という視点から捉えた理論講座です。別々に学ぶことの多い楽典・和声法・対位法・楽式論を、楽曲分析による実習を軸としながら、一体のものとして螺旋状に3年間かけて学んでいく新しい学習形式の理論講座になります。

《舞台語発音法Ⅰ》：通年（2024年度開講） [演習付き講義]

講師：三ヶ尻正（IPA・ラテン語）、森田学（イタリア語）、ヨズア・バルチュ（ドイツ語）、波多野睦美（英語）、太田朋子（フランス語）

合唱にはディクシオンの勉強が不可欠ですが、声楽よりも多岐に亘る言語をカバーする必要があります。それらを実践的に学ぶ講座です。《舞台語発音法Ⅰ》では、歌われることの多い言語について、IPA・ラテン語、イタリア語、ドイツ語、英語、フランス語を、各6コマずつ学びます。

《舞台語発音法Ⅱ》：通年（2024年度開講） [演習付き講義]

講師：森本覚（マジャール語）、濱田吾愛（スペイン語）、一柳富美子（ロシア語/教会スラブ語）、慶児道代（チェコ語）、堀口大樹（ラトヴィア語）、松村一登（エストニア語）、井上勢津（ノルウェー語）、調整中（スウェーデン語）、堅田優衣（フィンランド語）

《舞台語発音法Ⅱ》では、《舞台語発音法Ⅰ》ほど歌われる頻度は少ないものの、優れた合唱作品が多くある言語から、マジャール語、スペイン語、ロシア語/教会スラブ語、チェコ語、ラトヴィア語、エストニア語、ノルウェー語、スウェーデン語、フィンランド語を、各3~4コマずつ学びます。

《舞台語発音法Ⅲ》：通年（2025年度開講予定） [演習付き講義]

I・IIで扱った全言語を、ブラッシュアップ・メンテナンスを目的として各2~3コマずつ実践的に学びます。受講にあたっては、《舞台語発音法Ⅰ,Ⅱ》を履修していることが前提となります。

《合唱のためのソルフェージュ》：通年（2025年度開講予定） [講義]

合唱人として身につけておくべきソルフェージュの知識(純正調/様々な音律/移動ド等)を、実践を通して学ぶ講座です。

《発声のための音声学概論》：半期（2024年度前期開講） [講義]

講師：竹田数章

ともすると机上の理論となりやすい音声学について、より実際の発声の諸問題解決につながる形で学ぶ講座です。

《発声指導法》：半期（2024年度後期開講） [講義]

講師：石原祐介、上杉清仁、河合孝夫、黒川和伸、佐藤拓、竹内雅拳、田中豊輝、戸崎文葉、富本泰成、藤澤幸義子、北條加奈、松平敬、柳嶋耕太ほか

〈さまざまなウォームアップを学ぶ〉ことをテーマに、毎回1人、合計15人の声楽家・ヴォイストレーナー・合唱指揮者から、発声に関する理論や具体的なウォームアップのメソッドをレクチャーしてもらい、多角的に学びを深める講座です。

《日本語を学ぶ/詩を学ぶ》：通年（2024年度開講） [講義]

講師：伊東恵司（日本語を学ぶ）、林望（詩を学ぶ）

歌詞を扱う者として知っておくべき日本語に関する知識、また詩について学ぶ講座です。 [アーカイブ利用講座]

《作品研究》：通年（2024年度開講） [講義]

講師：上田真樹、尾形敏幸、荻久保和明、鈴木輝昭、鈴木憲夫、高嶋みどり、寺嶋陸也、なかにしあかね、千原英喜、新実徳英、松本望ほか

作曲家本人による講義により、その作曲家の作風・スタイルを学びます。（1人2コマ）

《コンサート運営論》：通年（2025年度開講予定） [講義]

コンサートの企画運営・プロデュース・プログラミング・広報宣伝・著作権・舞台音響照明・撮影録音技術等、コンサートを行う上で演奏家が知っておくべき知識に関して、専門家を招いて実践的に学びます。後期は「修了演奏会」を自分達でプロデュースし、企画運営、広報宣伝を行い、実践を通じて学びます。

[コース特別科目] ※学校教育者・部活動指導者育成コース

部活動指導法：夏期集中（2024年度開講） [講義]

講師：粕谷宏美、菅野正美、小針智意子、村松玲子

部活動指導に定評のある学校の先生方を講師に迎え、そのメソッドやエッセンスを学ぶ講座です。 [アーカイブ利用講座]

[コース特別科目] ※合唱指導者コース

合唱指導法：冬期集中（2024年度開講） [講義]

講師：岸信介、長谷川冴子、古橋富士雄

合唱指揮者として長年実績を積んでこられた先達の先生方から、合唱指導において大切なことは何か、自由に語っていただく講座です。 [アーカイブ利用講座]

[修了要件科目]

《修了演奏》：半期 ※合唱指揮科（2025年度開講予定）

所定の単位を修得した合唱指揮科生は、修了にあたり30分程度の合唱作品による演奏をプログラミングし、リハーサル、指揮を行う。受講生はJCDA会員、あるいは指揮法担当講師から1名指導教員を選ぶことが出来、指導教員は受講生のプログラミングに対する助言、リハーサルへの立会い・助言を行う。合唱団は基本的に指導教員の合唱団により行われ、リハーサルは7回（1回90分）行われる。

《修了演奏》：半期 ※合唱科（2025年度開講予定）

所定の単位を修得した合唱科生は、修了にあたり30分程度のソロ・アンサンブル作品による演奏をプログラミングし、演奏を行う。受講生はJCDA会員、あるいは声楽アンサンブル演習担当講師から1名指導教員を選ぶことができ、指導教員は受講生に対する助言、レッスンをを行う。

※補足説明

【専門科目】 は原則として対面で行う。（収録配信あり）

【共通科目】 は原則としてオンラインで行うが、必要に応じて対面で行う。（オンラインはzoomウェビナーを使用）

【通年】 は、4月～3月までに30回（1回90分）行われる。

【半期】 は、4～9月（前期）あるいは10～3月（後期）に15回（1回90分）行われる。

各科目は、**【実技】**・**【講義】**・**【演習付き講義】** に大別される。

【実技】 とは、1回90分間（リハーサルスタディは1回150分間）の実技レッスンのことを指す。

【講義】 とは、1回90分間の講師による講義形式の授業のことを指す。（原則として事前に収録されたアーカイブを利用する）

【演習付き講義】 とは、1回90分間（演奏表現のための理論は講義約60分/演習40分）からなる、講師とアクティブ受講生による双方向の演習を伴う講義のことを指す。

※アクティブ受講生…演習付き講義において、演習に参加できる受講生のことを指す（定員あり）

※聴講…対面講義・オンラインの講義含め、すべてオンラインで視聴する

〈時間割〉

平日にオンラインの講義を組み、土日に対面の実技科目を組んでいます。
対面も含め、すべての講義は収録・配信されるため、時間や場所を選ばず受講することも可能です（実技科目・演習付き講義科目のアクティブ受講生は、対面（オンラインの場合はリアルタイム）での参加が前提となります）。

〈2024年度年間予定〉

4月27日 入校式
4月～7月 前期（15回）
8月～9月 補講月・夏期集中講義
10月～1月 後期（15回）
2月～3月 補講月・冬期集中講義
3月 入学試験

〈2024年度時間割〉

月曜日 19:30～20:10 演奏表現のための理論Ⅱ（演習）
20:20～20:50 演奏表現のための理論Ⅰ（演習）
火曜日 19:30～21:00 日本語を学ぶ／詩を学ぶ
19:30～21:00 発声のための音声学概論／発声指導法
水曜日 19:30～21:00 舞台語発音法Ⅰ
19:30～21:00 舞台語発音法Ⅱ
木曜日 19:30～21:00 合唱音楽史Ⅰ（西洋）
19:30～21:00 合唱音楽史Ⅱ（日本）／キリスト教と合唱
金曜日 19:30～21:00 作品研究
土曜日 14:00～15:30 声楽・アンサンブル演習Ⅰ
16:00～17:30 指揮法Ⅰ
18:00～20:30 リハーサルスタディ
日曜日 12:00～13:30 指揮法Ⅱ
14:00～15:30 声楽アンサンブル演習Ⅱ

受講費用（すべて税込）

1. 本科（合唱指揮科・合唱科共通）

本科生は、開設されている科目のすべてを履修することができます。実技科目、演習付き講義科目に関しては、原則として全てアクティブ受講となります（専攻外実技科目のアクティブ受講を希望される場合は試験あり・聴講料とアクティブ受講料の差額分を追加でお支払いいただきます）。

3年目の受講費には、修了演奏のための諸費用が含まれます。

入学金・施設費等 なし

1年目：年額一括納入 360,000円（月額分納 33,000円/月も可能）

2年目：年額一括納入 360,000円（月額分納 33,000円/月も可能）

3年目：年額一括納入 495,000円（月額分納 45,000円/月も可能）

2. 選科（合唱指導者コース／学校教育者・部活動指導者コース）

開設科目から**4科目を選び**履修することができます（組み合わせは自由）。選択した4科目に加えて、コース特別科目を1科目受講することができます。実技科目（指揮法Ⅰ・Ⅱ、声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディ）および演習付き講義科目（演奏表現のための理論Ⅰ・Ⅱ、舞台語発音法Ⅰ・Ⅱ）に関しては、定員に空きがある場合に、アクティブ受講を**優先的に**申し込むことができます（試験あり・アクティブ受講する場合は聴講料とアクティブ受講料の差額分を追加でお支払いいただきます（指揮法Ⅰ・Ⅱ、声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディは+40,000円、そのほかは+20,000円））。

年額一括納入 180,000円（月額分納 16,500円/月も可能）

3. 選科（技術系・パートリーダーコース）

開設科目から**2科目を選び**履修することができます（組み合わせは自由）。選択した2科目に加えて、コース特別科目を1科目受講することができます。実技科目（指揮法Ⅰ・Ⅱ、声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディ）および演習付き講義科目（演奏表現のための理論Ⅰ・Ⅱ、舞台語発音法Ⅰ・Ⅱ）に関しては、定員に空きがある場合に、アクティブ受講を**優先的に**申し込むことができます（試験あり・アクティブ受講する場合は聴講料とアクティブ受講料の差額分を追加でお支払いいただきます（指揮法Ⅰ・Ⅱ、声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディは+40,000円、そのほかは+20,000円））。

年額一括納入 100,000円（月額分納 9,000円/月も可能）

4. 選科（部活動指導員コース）※短期コース

合唱指導法、部活動指導法の2科目を受講することができます。

一括納入 25,000円

5. 単科

単科生は、1科目から受講できます。実技科目（指揮法Ⅰ・Ⅱ、声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディ）および演習付き講義科目（演奏表現のための理論Ⅰ・Ⅱ、舞台語発音法Ⅰ・Ⅱ）に関しては、定員に空きがある場合に、アクティブ受講を申し込むことができますが、本科生・選科生が優先されます。また、アクティブ受講にあたっては試験があります。（「アクティブ受講について」を参照）

指揮法Ⅰ（アクティブ受講）：80,000円

指揮法Ⅰ（聴講）：40,000円

指揮法Ⅱ（アクティブ受講）：80,000円

指揮法Ⅱ（聴講）：40,000円

声楽アンサンブル演習Ⅰ（アクティブ受講）：80,000円

声楽アンサンブル演習Ⅰ（聴講）：40,000円

声楽アンサンブル演習Ⅱ（アクティブ受講）：80,000円

声楽アンサンブル演習Ⅱ（聴講）：40,000円

講義（通年）：40,000円 ※通年30回の講義

講義（半期）：20,000円 ※半期15回の講義

講義（集中）：15,000円

演習付き講義（アクティブ受講）：60,000円

演習付き講義（聴講）：40,000円

リハーサルスタディ（アクティブ受講）：80,000円

リハーサルスタディ（聴講）：60,000円

※JCDA日本合唱指揮者協会会員割引制度

JCDA日本合唱指揮者協会の会員は、合唱指導者コースを会員割引にて受講することができます（ただし聴講のみ）。

また、単科を会員割引にて受講することができます（ただし聴講のみ）。

お申し込み方法

〈本科への入学を希望される方〉

本科への入学を希望される方は、**3月15日（金）（必着）**までに、①申込書②音楽歴・音楽学習歴（書式自由）を、（一社）日本合唱指揮者協会までメール（jcda@d3.dion.ne.jp）または郵送にて送付して下さい。いただいた書類をもとに順次書類審査を行い、結果をお知らせするとともに、合格者には2次試験の御案内を致します。

応募資格（合唱指揮科、合唱科共通）

- ・プロフェッショナルの合唱指揮者、合唱歌手を目指している方
- ・18歳以上（2024年4月1日時点）
- ・対面での講義に参加できる方

【合唱指揮科 入学試験概要】

受験料：1次試験 無料 / 2次試験 15,000円

1次試験：書類審査（音楽歴・音楽学習歴）※書式自由

2次試験：実技審査・基礎能力検査・面接

- ①指揮実技…声楽アンサンブルを指揮し、F.Poulenc：Salve reginaの10分間のリハーサルを行う
- ②演奏実技（声楽、ピアノ、ピアノ以外の楽器のいずれか任意の一つ）…自由曲1曲（4分程度）
- ③基礎能力検査（楽典・新曲視唱・新曲視奏・聴音）
- ④面接

【合唱科 入学試験概要】

受験料：1次試験 無料 / 2次試験 15,000円

1次試験：書類審査（音楽歴・音楽学習歴）※書式自由

2次試験：実技審査・基礎能力検査・面接

- ①声楽実技…課題曲1曲（T.L.de.Victoria：Ave maria）を、自分以外のパートの3名（JCDAが用意）とともに重唱する。先唱は受験者が行う。
- ②声楽実技…自由曲1曲（4分程度）※アカペラ・ピアノ付きいずれも可。
- ③基礎能力検査（楽典・新曲視唱・新曲視奏・聴音）
- ④面接

ピアノ伴奏はJCDAが用意したピアニストによって行う。

2次試験日（合唱指揮科・合唱科共通）

2024年3月20日（水・祝）午前～午後 都内にて実施

※どうしても都合がつかない方は申込の際に事務局までご相談ください。

2次試験の詳細に関しては、1次試験を通過した方に個別にご案内いたします。

〈選科への入学を希望される方〉

選科への入学を希望される方は、3月15日（金）（必着）までに、申込書を（一社）日本合唱指揮者協会までメール（jcda@d3.dion.ne.jp）または郵送にて送付して下さい。選科は入学試験はありませんので、お申し込みをもって完了となります。

実技科目（指揮法Ⅰ・Ⅱ、声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディ）、演習付き講義科目（演奏表現のための理論Ⅰ・Ⅱ、舞台語発音法Ⅰ・Ⅱ）に関しては、アクティブ受講の定員に空きがある場合アクティブ受講することが可能です（下記、審査あり）。

【指揮法Ⅰ・Ⅱのアクティブ受講生選抜試験】

- ①自分が指揮している動画の提出（リハーサル動画10分程度+通し演奏動画（自由曲1曲））
- ②音楽歴・音楽学習歴（書式自由、写真添付）の提出

【声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディのアクティブ受講生選抜試験】

- ①自分が歌唱している動画の提出（T.L.de.Victoria:Ave mariaの自身のパートを演奏したもの（先唱含）+自由曲1曲（アカペラ・ピアノ付きいずれも可））
- ②音楽歴・音楽学習歴（書式自由）の提出

【演奏表現のための理論Ⅰ、舞台語発音法Ⅰ・Ⅱのアクティブ受講生選抜試験】

音楽歴・音楽学習歴（書式自由）の提出

【演奏表現のための理論Ⅱのアクティブ受講生選抜試験】

理論試験の実施

選科生の入学を希望される方で、上記科目のアクティブ受講を希望される方は、その旨を申込書に記載の上、音楽歴・音楽学習歴・動画を併せてご提出下さい。

提出動画について

- ・動画はmp4.またはmov.形式で作成し、GigaFile（ギガファイル）便やYouTube等にアップロードし、そのアドレスをお送り下さい。
- ・動画は必ずしも今回のために新たに演奏されたものでなくても構いませんが、過去の演奏動画を提出する場合は、2023年1月以降に撮影されたものに限ります。
- ・音声を編集すること、動画を編集することは固く禁じます。撮影はスマートフォン等で問題ありませんが、自身の姿がよく見えるように撮影し、音割れにご注意ください。

〈単科の受講を希望される方〉

単科へのお申し込みは、JCDA公式ホームページからインターネットを通じてお申し込みいただけます（3月中にお申し込み開始予定）。

実技科目（指揮法Ⅰ・Ⅱ、声楽アンサンブル演習Ⅰ・Ⅱ、リハーサルスタディ）および演習付き講義科目（演奏表現のための理論Ⅰ・Ⅱ、舞台語発音法Ⅰ・Ⅱ）に関しては、定員に空きがある場合に、アクティブ受講を申し込むことができますが、本科生・選科生が優先されます。また、アクティブ受講にあたっては審査があります。審査内容は上記審査に準じます。

申込日 年 月 日

JCDAコーラスアカデミー申込書

フリガナ			
氏 名			
性 別	男 女	生年月日	年 月 日
住 所	〒		
職 業		携帯電話	
MAIL			
	希望する科に○をつけ、コース名を記載してください。		
コ ー ス	本科 () ・ 選科 () コース		

備考	選科を希望される方で、アクティブ受講を希望される方はこちらに科目名をご記入下さい。
----	---

本科への入学を希望される方は、音楽歴・音楽学習歴（書式自由、写真貼付）を添付して下さい。

選科への入学を希望される方で、アクティブ受講を希望される科目のある方は、本申込書とともに、音楽歴・音楽学習歴（書式自由、写真貼付）を添付して下さい。

実技科目のアクティブ受講を希望される方は、必要な動画映像の提出を併せてお願いします。

(送付先)メールでも郵送でも可。ただし郵送の場合は、3月15日（金）必着とする。

一般社団法人 日本合唱指揮者協会

〒161-0033 東京都新宿区下落合3-2-18-402

TEL : 03-3952-7207

FAX : 03-3952-7218

MAIL : jcda@d3.dion.ne.jp